



長崎市立三原小学校

～寄り合って、寄り添って、みんなで育て、みんなで育つ～

「笑顔いっぱい！真剣いっぱい！感動いっぱい！の三原っ子」



MIHARA TIMES

令和3年6月30日発行

文責 校長 宮原 友彦

三原小学校では、今年は6月25日から7月1日までを「三原っ子の心を見つめる教育週間」としています。今年度も残念ながら、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、学校公開や100人パトロールができなかったことを申し訳なく思っております。

さて、毎年、この時期に、三原っ子の心を見つめる教育週間を行う理由についてみなさんは覚えていらっしゃるでしょうか。きっかけになったのは、この長崎県で起きた2つの痛ましい事件です。

平成15年7月1日、長崎市で中学1年生が幼稚園の子供を殺してしまうという事件が起きました。

平成16年6月1日には、佐世保市で小学6年生の女の子が同級生の女の子を殺してしまうという事件が起きました。どちらも、とてもショックで、つらく悲しい事件でした。

事件が起きてからすでに何年も経ちますが、今でも、家族や同級生、先生たちにも消すことできないつらい出来事となっています。また、残念なことに、このような取組をしている中、平成24年7月に佐世保市で女子高校生が同級生を殺してしまうという悲しい事件が起きてしまいました。このような不幸で悲しい事件が二度と起こってはならない、起こさせてはならないという強い思いを込めて、この時期、長崎県内すべての小中学校で、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」という期間を設けて、様々な取組を行うようにしています。

三原小でも、命の大切さについての校長講話、被爆体験講話（4～6年）、SNSながさきを活用した情報モラルについての学習などを行っています。公開ができなかった分、「家に帰ったら、今日こんなことを考えたよ！感じたよ！ということをお家の人に必ず伝えて、一緒に考える機会をもってくださいね。」と子どもたちに話していますので、この一週間は特に「今日、どんなことがあった？」と『命』『生きる』ということについて、家族で話をする機会をぜひもっていただきたいと思います。

また、水泳シーズンが始まる前に、子どもたちの命を守るために、現職教育で長崎北消防署の方を講師に、心肺蘇生法の研修を行いました。すでに何度も受講したことがある先生方も多かったのですが、コロナ禍で変更されたところがあったり、心臓マッサージを何回やったら呼吸を確認するのかなど忘れてしまっていたことがあったりと、とても有意義な研修となりました。

全国的に水の事故が多発していますが、長崎でもつい最近（6月20日）、通りかかった方から心臓マッサージを施されたのち、ドクターヘリで救急搬送された事案がありました。また、令和2年11月と令和3年2月に児童の水難事故があります。いずれも子どもだけででかけたり、保護者がちょっと目を離した際の事故だったりしています。これから夏になり、水辺で遊ぶことも増えてきます。水の恐ろしさを十分認知したうえで、安全に気をつけながら水遊びを楽しむことができるよう、御家庭でも御指導をお願いいたします。



三原に吹く風

さて、明日から1泊2日で、5年生の宿泊学習が始まります。昨年度は12月中旬の実施で、吹雪の中の宿泊学習となり、大変だったのですが、それを乗り越えた自信が現6年生を大きく成長させたところがありました。寝食をともにし、学校から離れて自然の中で学習することが、普段の生活では気付かない友達の良さや新たな魅力発見につながります。コロナ禍の中、少なくなりがちなコミュニケーションを大自然の中でたくさん深めてくれればと願っています。ちなみに新型コロナウイルス感染症対策のため、時期が大幅にずれ、本校5年生が、長崎市のトップを切った宿泊学習となりました。この年齢の子どもたちは短期間でも大きく成長する時季です。明後日には大きく成長した5年生の姿を見られることを期待しています！

宮原のつぶやき

先週の日曜日、観客が少ない時間帯を選んで、ソーシャルディスタンスばっちり、映画を見に行ってきました。「るろうに剣心 The Beginning」です！前作の「るろうに剣心 The Final」も新型コロナウイルスの感染が落ち着くのを待って見るのができたのですが、私が大好きな幕末が描かれていることもあり、原作のときからのファンでした。もともと日本史が好きなこともあり、若かりし頃は、戦国時代の上杉謙信公や幕末の新選組土方歳三の生きざまに少なからず影響を受けたように思います。小説は歴史小説の司馬遼太郎さん、隆慶一郎さん、池波正太郎さんが好きで、そのドラマ化されたものや漫画化されたものも大好きです。るろうに剣心は完全なフィクションですが、自らの信念のもと、敢えて人切りに徹した主人公が、どういうきっかけで不殺の誓いを立てたのかなど、人間味のあるストーリーが大好きです。人生に彩りをくれる映画、小説、漫画に出会えた幸せを、巣籠になりがちなコロナ禍で感じる今日この頃でした(´-`)